



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 JBCCHホールディングス株式会社
 コード番号 9889 URL <https://www.jbcchd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 隆司

問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 コーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 村松 文子

TEL 03-5714-5171

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	48,387	21.8	1,568	4.3	1,588	3.0	1,011	2.2
29年3月期第3四半期	61,893	4.2	1,503	24.0	1,541	36.7	990	275.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,519百万円 (32.9%) 29年3月期第3四半期 1,143百万円 (152.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	60.39	
29年3月期第3四半期	58.55	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	30,911		14,743			47.6
29年3月期	38,350		13,865			35.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,727百万円 29年3月期 13,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		12.50		14.50	27.00
30年3月期		14.00			
30年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	24.3	1,900	2.4	1,950	0.9	1,250	1.5	74.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社イグアス

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	17,773,743 株	29年3月期	17,711,543 株
30年3月期3Q	1,020,391 株	29年3月期	874,748 株
30年3月期3Q	16,756,287 株	29年3月期3Q	16,916,879 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
3. 補足情報	8
販売の状況(連結)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）におけるITサービス市場の動向は、既存システムの更新に加え、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）などの新たなIT活用の検討が更に進んでおり、IT投資は緩やかに伸長しています。当社の主な顧客である中堅企業においても同様の傾向が見られます。

このような中、今年度は4ヵ年の中期経営計画「Transform2020」初年度にあたり、「事業構造を変える」、「注力分野の明確化」、「新たな取り組み」を経営の基本方針に据え、お客様のデジタルトランスフォーメーションの支援を柱とし、更なる収益の向上に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間は、第1四半期連結会計期間末における連結子会社であった株式会社イグアスの全株式売却の影響もあり、前年同期比では減収となりましたが、収益向上の取り組みにより増益となっております。なお、当年度の連結業績予想との対比においては、売上高76.8%、営業利益82.6%、経常利益81.5%、親会社株主に帰属する当期純利益81.0%にて、それぞれ進捗しております。

当第3四半期連結累計期間における事業分野別の概況は、以下の通りです。

[情報ソリューション]

企業の情報システムの構築及び運用保守サービス等を行っている情報ソリューション分野では、サービスビジネスについては、導入サービスやお客様のセキュリティ強化によるセキュリティサービスが堅調に推移いたしました。システムについては、次世代仮想化ソリューション等のビジネスの伸長がありましたが、クラウドへのシフトで売上が減少いたしました。システム開発については、前年同期より大型案件の減少もあり売上が減少いたしました。

これらの結果、売上高は398億25百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

[ディストリビューション]

第1四半期連結会計期間末において、ディストリビューション分野に属する株式会社イグアスの株式を全て売却したことに伴い、当グループの第2四半期期首以降におけるディストリビューション分野の事業活動は行っておりません。

※参考 当第1四半期連結累計期間の売上高：67億58百万円

[製品開発製造]

当グループ独自のソフトウェア及びプリンター等の情報機器の開発・製造・販売を行っている製品開発製造分野では、生産管理システム「R-P i C S」については、導入や開発の売上が増加いたしました。J B ソフトウェアについては、情報連携支援のソリューションの売上が伸長いたしました。ハードウェアについては、「Optimized PC 2.0」（※）の大口の売上がありましたが、主力のインパクトプリンターの売上は需要の縮小による減少傾向が続いております。

これらの結果、売上高は18億4百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

（※）既存のPCとシンクライアント、双方の特徴をあわせ持ち、利便性と機密性を兼ね備え、お客様の利用形態に最適化されたクライアント端末及びその環境

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高483億87百万円（前年同期比21.8%減）、営業利益15億68百万円（前年同期比4.3%増）、経常利益15億88百万円（前年同期比3.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億11百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ74億39百万円減少し、309億11百万円となりました。これは主に、投資その他の資産に含まれている投資有価証券が9億99百万円増加した一方、現金及び預金が15億1百万円、受取手形及び売掛金が38億57百万円、商品及び製品が7億35百万円、その他流動資産に含まれている前払費用が9億44百万円、その他流動資産に含まれている未収入金が4億71百万円、その他流動資産及び投資その他の資産に含まれている繰延税金資産が3億99百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ83億17百万円減少し、161億67百万円となりました。これは主に、その他流動負債に含まれている預り金が3億63百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が39億66百万円、その他流動負債に含まれている未払費用が13億14百万円、未払法人税等が5億32百万円、その他流動負債に含まれている前受金が6億6百万円、退職給付に係る負債が21億83百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億78百万円増加し、147億43百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が3億70百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益により10億11百万円増加した一方、配当金の支払いにより4億78百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期以降についても、第3四半期に続き回復基調が進むことが期待されており、当社の主な顧客である中堅企業のIT投資についても、緩やかに伸長していくものと予想されます。

このような環境の中、当社はお客様のデジタルトランスフォーメーションの支援を推進してまいります。具体的な取組みとしては、中期経営計画「Transform2020」にて発表しました7つの成長事業「WILD7」〔クラウドサービス、NewSI（新システム開発）、セキュリティサービス、JBソフトウェア、ヘルスケア（医療）、3D事業、人材育成サービス（研修）〕の強化・拡大を更に進めてまいります。

以上を踏まえ、平成29年5月9日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、上記連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,293	5,792
受取手形及び売掛金	15,841	11,984
商品及び製品	1,914	1,179
仕掛品	226	344
原材料及び貯蔵品	463	412
その他	3,958	2,285
貸倒引当金	△19	△2
流動資産合計	29,679	21,996
固定資産		
有形固定資産	2,407	2,103
無形固定資産	753	642
投資その他の資産		
その他	5,621	6,243
貸倒引当金	△110	△73
投資その他の資産合計	5,511	6,169
固定資産合計	8,671	8,914
資産合計	38,350	30,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,004	5,037
短期借入金	450	450
未払法人税等	885	353
販売等奨励引当金	166	79
受注損失引当金	98	106
その他	6,547	5,030
流動負債合計	17,152	11,057
固定負債		
退職給付に係る負債	6,781	4,598
資産除去債務	342	345
その他	208	166
固定負債合計	7,332	5,110
負債合計	24,485	16,167

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,687	4,713
資本剰余金	4,842	4,863
利益剰余金	4,937	5,471
自己株式	△572	△695
株主資本合計	13,894	14,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	544	914
為替換算調整勘定	16	12
退職給付に係る調整累計額	△691	△553
その他の包括利益累計額合計	△130	373
非支配株主持分	101	16
純資産合計	13,865	14,743
負債純資産合計	38,350	30,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	61,893	48,387
売上原価	48,438	36,193
売上総利益	13,454	12,193
販売費及び一般管理費	11,951	10,624
営業利益	1,503	1,568
営業外収益		
受取配当金	32	34
持分法による投資利益	3	—
設備賃貸料	—	100
受取保険料	17	31
雑収入	31	32
営業外収益合計	85	199
営業外費用		
支払利息	9	7
持分法による投資損失	—	62
設備賃貸費用	—	100
為替差損	25	—
雑損失	11	10
営業外費用合計	47	180
経常利益	1,541	1,588
特別利益		
関係会社株式売却益	50	184
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	11	—
特別利益合計	61	191
特別損失		
会員権評価損	14	9
投資有価証券評価損	—	1
子会社清算損	17	—
固定資産売却損	11	—
その他	—	0
特別損失合計	44	12
税金等調整前四半期純利益	1,558	1,767
法人税等	557	752
四半期純利益	1,001	1,015
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	990	1,011

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,001	1,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64	370
為替換算調整勘定	△13	△4
退職給付に係る調整額	90	138
その他の包括利益合計	141	504
四半期包括利益	1,143	1,519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,132	1,516
非支配株主に係る四半期包括利益	10	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であった株式会社イグアスの株式を全て売却したことにより、株式会社イグアスは当社の連結子会社に該当しないこととなり、第1四半期連結会計期間末より、連結の範囲から除外しております。

3. 補足情報

販売の状況 (連結)

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
情報ソリューション	39,825	△1.1
ディストリビューション	6,758	—
製品開発製造	1,804	3.5
合計	48,387	—

※第1四半期連結会計期間末において、ディストリビューション分野に属する株式会社イグアスの株式を全て売却したことに伴い、当グループの第2四半期期首以降におけるディストリビューション分野の事業活動は行っておりません。尚、上記の影響により、「ディストリビューション」及び「合計」の前年同期比については、記載しておりません。